



●子会社 株式会社福岡機器製作所

**【新発売】自動で段ボール箱を高速で積み付ける
「FKパレタイザー積む太くん」**

段ボール箱をパレットに積み付ける作業は物流業界において欠かせないものです。人手不足が深刻化する中で、この作業の自動化が求められています。次世代の省人化を実現する最新のガントリー方式パレタイザー「FKパレタイザー積む太くん」を2024年10月16日より販売開始いたしました。

24時間稼働する自動機により、人手不足に悩む物流現場の荷役作業の生産性向上に貢献します。

KOKORO

意style

第114期中間期 報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

企業理念

Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、
世界の人々と従業員の
明るい未来を実現するために

マテリアルからはじまる価値創造に
挑戦し続けます。

常にNo.1を目指し、かけがえのない存在で
あり続けます。

行動規範

Our Way

私たちは、情熱を持って、
失敗を恐れずチャレンジします。

私たちは、当事者意識を持って、
すぐ行動しやり遂げます。

私たちは、相手の立場になって、
期待以上で応えます。

パーパス

Our Purpose



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く
お礼申し上げます。

当中間期においては、当社グループがターゲットと
する市場における需要の高まりに対応し、前年同期を
上回る売上高や営業利益を達成することができま
した。

その一方、現在は前年の市況の落ち込みからの回復
局面であり、「日本タングステングループ2024中期経
営計画」の目標達成に向けては、誠に遺憾ながら厳し
い状況でもあります。

これらを真摯に踏まえ、全社一丸となって目標に近づ
けるよう業績の向上に邁進していく所存です。

今後とも、当社グループに対する変わらぬご理解と
ご支援の程を何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年12月

取締役社長 後藤信志

より具体的且つ強固に、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

Q 当中間期の決算のポイント等について

注力商品のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板やNTダイカッターが、当初想定を上回るレベルで好調に推移しました。

当中間期の経済環境は、企業の堅調な設備投資や雇用・所得環境の改善によって、国内景気は持ち直しの動きが見られました。また、世界経済も基本的には底堅い推移を示すものの、不安定な国際情勢、物価上昇、金融政策をめぐる不確実性の高まり等により、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループの注力市場におきましては、半導体・電子部品市場が、生成AIの普及によるサーバー需要の増加等により回復傾向で推移し、衛生用品機器・医療用部品市場においても、需要の高まりを背景に好調に推移しました。また、産業用機器・部品市場は、企業の設備投資が回復傾向で推移していること等により、堅調に推移しました。一方、自動車部品市場は、北米及び中国向けの需要減少が影響し、低調に推移しました。

これらの結果、当中間期の連結売上高は63億9百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は3億97百万円(同37.2%増)、経常利益は5億23百万円(同14.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億54百万円(同1.9%減)となりました。

Q 通期業績予想や今後の市況予測について

各ターゲット市場の動向を的確に捉えた上、増収増益の着実な達成を計画しています。

当社グループがターゲットとする市場におきまして、半導体・電子部品市場では、HDD用磁気ヘッド基板(機械部品事業)が好調を継続すると見込んでおります。衛生用品機器・医療用部品市場でも、医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品(電機部品事業)の堅調な推移が見込まれます。一方、NTダイカッター(機械部品事業)が今下期は受注品の納期の谷間にあり、上期業績より弱含みで推移するものと想定しております。また、産業用機器・部品市場では、二軸混錬押出機用の金属部品(機械部品事業)の需要で一服感があり、今下期の業績は、上期業績より勢いを欠く中で推移するものと見込まれます。

以上を踏まえ、2025年3月期の通期業績としては、連結売上高120億円(前期比4.7%増)、営業利益5億20百万円(同9.2%増)、経常利益8億円(同1.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5億60百万円(同6.2%増)を計画しております。

Q 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

事業ROICマネジメント実装による資本収益性の向上や
事業ポートフォリオ再編に取り組み、
一層の企業価値向上を目指してまいります。

当社では2024年6月開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関し、具体的な目標や取り組み策を決議いたしました。今般決議した諸施策にこれから邁進することで、事業ROICマネジメントの実装による資本収益性向上に向けた活動の強化、事業ポートフォリオ再編に向けた取り組みの強化、株主還元の重視・株主資本コスト低減に向けた取り組みの強化を図り、一層の企業価値向上を目指してまいります。

詳細は
こちら

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について



https://www.nittan.co.jp/member/admin/topics_page/pdf/661.pdf

Q 株主還元の状況について

1株当たり25円の間配当を実施させていただきました。

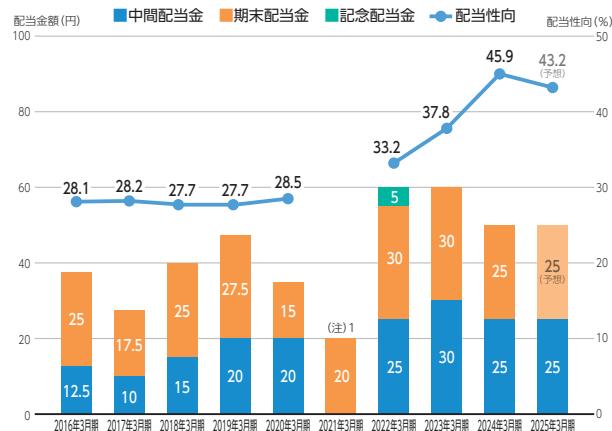
当社は、新製品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、原則として1株当たり年間配当額50円を下限とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安とした安定的・継続的な配当を実施するよう努めております。また、1株当たりの株主価値を向上させる

とともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めます。なお、著しい経営環境の変化などの特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合は、配当金の見直しを検討するものとします。

このような方針の下、当中間期末では1株当たり25円の配当を実施させていただきました。尚、現時点において今期末では、同じく1株当たり25円の配当を予定しております。

現状として、「日本タンブステングループ2024中期経営計画」の目標指標の達成には厳しいところではありますが、目下、新商品『MAZELLOY®』の積極的なPR活動や顧客からのフィードバックに基づく機能面の改善に取り組んでおり、既存商品においても、シェア拡大に向けた顧客への新たな提案や、生産体制の強化が進んでおります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 配当金・配当性向の推移



(注)1 2021年3月期は当期純損失であったため配当性向は該当ありません。

2 2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、配当金額を算定しております。

当社子会社 株式会社福岡機器製作所

【新製品】段ボール箱を高速で積み付ける「FKパレタイザー積む太くん」販売開始

SDGsにおける貢献分野



自動で段ボール箱を高速で積み付ける 「FKパレタイザー積む太くん」

▶ 次世代の物流効率化を実現

段ボール箱をパレット上に積み付ける作業は、物流業界において欠かせないものです。人手不足が深刻化する中で、この作業を人手に頼ることが困難になっています。省人化と生産性向上を求める物流業界のニーズに応えるために株式会社福岡機器製作所は最新のガントリー方式パレタイザー「FKパレタイザー積む太くん」を2024年10月16日より販売開始いたしました。

パレタイザーとは？

段ボール箱などをパレット上に積み付ける作業（パレタイジング）を自動化する装置です。導入することで、省人化や作業速度の向上、作業者の腰痛防止など、様々なメリットが期待できます。

ガントリー方式とは？

機械が設置されたレールに沿って水平・上下に移動する方式の一つです。この方式により、省スペースで広範囲の作業が可能となり、積み付け作業の柔軟性と効率が大幅に向上します。



▶ 「FKパレタイザー積む太くん」の特徴と性能

- **高効率作業** 最大18箱/分(2箱同時搬送時)の高速作業が可能で、短時間で大量の積み付けが行えます。
- **省スペース設計** 製品高3.3メートルと天井の低い現場でも設置可能。当社従来機種と比較して16%の省スペース設計を実現し、限られたスペースでも最大限の効率を発揮します。
- **移動式设计** キャスター付きの移動式设计により、柔軟な配置と効率的な運用が可能です。また、軽量化も進められており、簡単に設置や移動ができます。
- **省エネルギー** 電力使用量を当社従来機種比で42%削減し、エネルギーの削減に貢献します。



▶ 市場展望と期待される効果

パレタイザー市場の拡大が見込まれる中で、当社グループは「FKパレタイザー積む太くん」を物流業界において省人化と生産性向上に貢献する製品として位置づけています。2025年度の売上高目標は1億円、2027年度には2億円を目指して販売を進めてまいります。

▶ 福岡機器製作所のビジョン

福岡機器製作所は、蓄積されたノウハウを基にさらに最先端技術を駆使し次世代の省人化に挑戦し続けます。「FKパレタイザー積む太くん」は物流業界の省人化ニーズに応える画期的な製品となることを目指しています。

機械部品事業

■半導体・電子部品市場

情報機器関連のHDD用磁気ヘッド基板は、データセンター等で使用される大容量HDDの需要が、当連結会計年度第1四半期の回復傾向が継続していること等により、増収となりました。

■衛生用品機器・医療用部品市場

おむつなどの衛生用品製造設備の部品であるNTダイカッターは、新材料の投入や新構造のロータリーカッターユニットによる販売促進に取り組んだ結果、中国市場停滞の影響はあるものの他地域の需要が好調に推移していること等により、増収となりました。

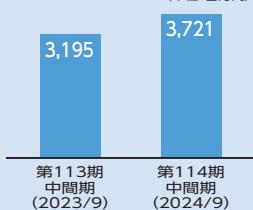
■産業用機器・部品市場

二軸混練押出機用の金属部品が、前連結会計年度下期から当連結会計年度第1四半期にかけて、まとまった受注を獲得したこと等により、増収となりました。一方で、製鉄所向けの耐摩耗部材は、安定した需要の中で推移しているものの、特に前年同期に需要が集中していたこと等により、減収となりました。

この結果、機械部品事業の売上高は前年同期比16.5%増の37億2千1百万円となり、営業利益は、同50.0%増の4億8千3百万円となりました。

売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)



電機部品事業

■自動車部品市場

EVリレー用接点は、前連結会計年度後半の落ち込みから回復傾向にあるものの、北米向けでは一部のエンドユーザーの自動車減産の影響等により、減収となりました。また、電装部品溶接用の抵抗溶接用電極は、中国向けで顧客の需要が減少したことにより、減収となりました。

■産業用機器・部品市場

産業用設備向けのブレーカー用電気接点は、在庫調整の解消が進んでおり増収となりました。

■衛生用品機器・医療用部品市場

医療関連部材のカテーテル用タンブステンワイヤー製品は、北米地域向けで新規顧客を獲得するなど好調に推移し、また、東南アジア地域向けも、在庫調整が解消したことで堅調に推移し、増収となりました。

この結果、電機部品事業の売上高は前年同期比4.7%増の26億7百万円となりましたが、営業利益は注力商品が減少したことや、中国市場での低迷もあり、同13.5%減の2億1千7百万円となりました。

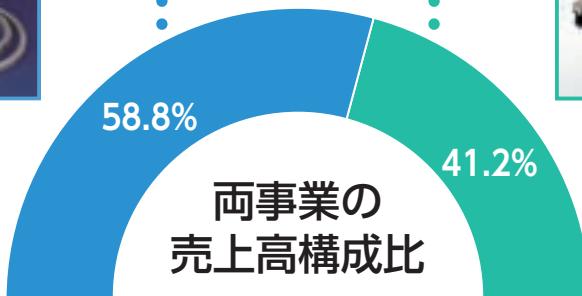
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)

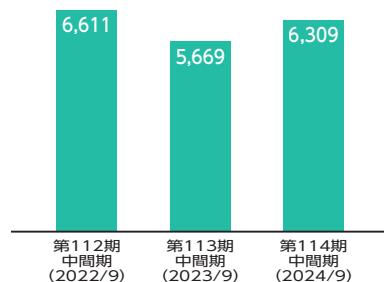


(注)売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額です。

業績等の推移(連結)

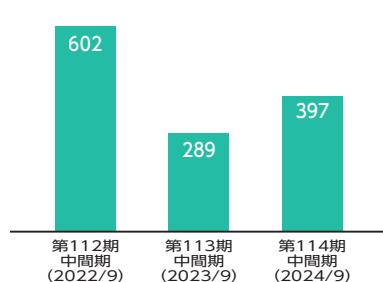
売上高

(単位:百万円)



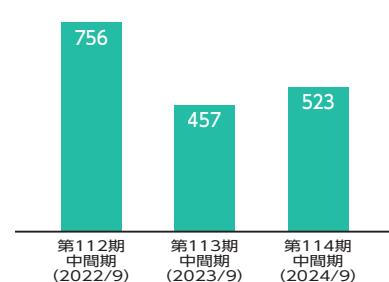
営業利益

(単位:百万円)



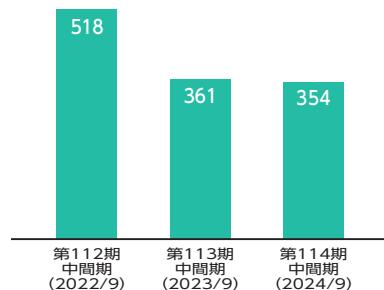
経常利益

(単位:百万円)



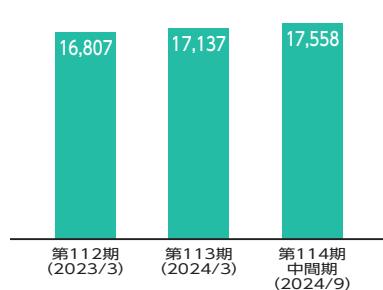
親会社株主に帰属する中間純利益

(単位:百万円)



総資産

(単位:百万円)



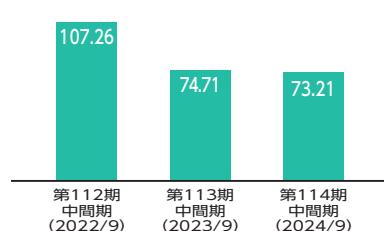
純資産

(単位:百万円)



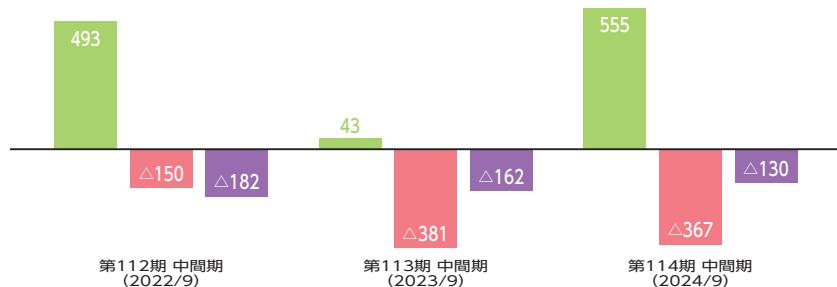
1株当たり中間純利益

(単位:円)



キャッシュ・フローの状況

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー (単位:百万円)



※当社は2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり中間純利益につきましては過年度に遡及して修正しております。

● 会社の概要

2024年9月30日現在

| | |
|------|-----------------------------|
| 設立 | 1931年(昭和6年)4月1日 |
| 資本金 | 25億950万円 |
| 従業員数 | 526名(連結) |
| 本社 | 福岡市博多区美野島一丁目2番8号 |
| 事業所 | 事務所：東京・大阪・刈谷 工場：基山・飯塚・宇美 |

役員

| | | |
|-------|-------|---|
| 取締役社長 | 後藤 信志 | 代表取締役 社長執行役員 |
| 取締役 | 毛利 茂樹 | 常務執行役員 事業統括責任者、品質保証担当、電機部品事業本部・事業支援本部担当 |
| 取締役 | 中原 賢治 | 執行役員 経営企画・開発技術センター担当 兼 基山工場長 |
| 取締役 | 原口 寿 | 執行役員 経営管理本部長、コンプライアンス担当 |
| 社外取締役 | 西山 勝 | 九州電力株式会社 取締役常務執行役員 |
| 取締役 | 今里 州一 | 監査等委員(常勤) |
| 社外取締役 | 久留 和夫 | 監査等委員 久留公認会計士事務所 代表 |
| 社外取締役 | 小田 昌彦 | 監査等委員 |
| 社外取締役 | 杉原 知佳 | 監査等委員 三浦・奥田・杉原法律事務所 共同経営弁護士 |
| | 味富 晋三 | 執行役員 電機部品事業本部長 |

関係会社

■ 連結子会社 ● 持分法適用関連会社

| | |
|------|----------------------------------|
| 国内 | ■ 株式会社福岡機器製作所 ■ 株式会社昭和電気接点工業所 |
| 中国 | ■ 上海恩悛二義美業发展有限公司 |
| アメリカ | ■ NIPPON TUNGSTEN USA, INC. |
| イタリア | ■ NIPPON TUNGSTEN EUROPE S.r.l. |
| タイ | ● SV NITTAN CO.,LTD. |

株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 決算期 | 3月31日 |
| 基準日 | 定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。 |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 上場証券取引所 | 東京(スタンダード市場)、福岡 |
| 証券コード | 6998 |
| 公告方法 | 当社のホームページ(https://www.nittan.co.jp/)に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |

● 株式の状況

2024年9月30日現在

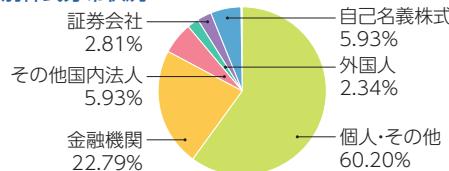
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 20,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 5,155,520株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主総数 | 3,954名 |

大株主の状況

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口) | 333,330 | 6.87 |
| 株式会社福岡銀行 | 214,524 | 4.42 |
| 日本タングステン取引先持株会 | 209,000 | 4.31 |
| 日本タングステン従業員持株会 | 190,664 | 3.93 |
| みずほ信託銀行株式会社 | 128,600 | 2.65 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 120,340 | 2.48 |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 101,834 | 2.10 |
| 株式会社佐賀銀行 | 100,000 | 2.06 |
| 宇部マテリアルズ株式会社 | 80,000 | 1.65 |
| 日本生命保険相互会社 | 65,792 | 1.36 |

- 上記のほか、自己株式を305,637株保有しております。
- 持株比率は自己株式(305,637株)を控除して計算しております。
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口)の持株数333,330株は、九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社から同信託銀行へ信託設定された信託財産であります。信託契約上当該株式の議決権は九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社が留保しております。

所有者別株式分布状況



株式事務手続きに関するお問い合わせ先

●証券会社等に口座をお持ちの株主さま

| | |
|---|--------------------------------------|
| 住所・氏名等、届出事項の変更 配当金受取方法の変更 単元未満株式の買取請求 等 | お取引の証券会社等までお問い合わせください。 |
| 未受領の配当金の お受取について | 下記株主名簿管理人(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。 |

●特別口座をお持ちの株主さま

| | |
|--------|---------------------------------------|
| 各種手続き等 | 下記特別口座管理機関(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。 |
|--------|---------------------------------------|

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ みずほ信託銀行 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
☎0120-288-324 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)